2019　年度 授業計画(シラバス)

学　科	柔道整復スポーツトレーナー		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 木 3･4	教室名	303
担 当 教 員	岡本 麻由	実務経験とその関連資格	歯科医師免許取得後、歯科医院にて勤務。			

《授業科目における学習内容》

生理学(Physiology)ではイキモノがどのようにして生きているのかを考える。この講義の目標は柔道整復師に必須の人体生理学の知識を習得する事である。

《成績評価の方法と基準》

定期試験:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

生理学改訂第3版(南江堂)

《授業外における学習方法》

医療関係者は特にヒトの正常状態および病的状態を理解する必要がある。常に復習が必要である。

《履修に当たっての留意点》

生理学はヒトの身体の正常機能を理解する、重要な科目です。この理解は2年次以降の一般臨床や病理学等の科目においても必要となります。将来にわたり自分で勉強できるようなレベルまで教育する予定である。

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回		授業を通じての到達目標	生理学に興味をもつ。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	生理学の基礎①(A生理学とは、B人体を構成する要素)		
第2回		授業を通じての到達目標	ホメオスタシスについて理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	生理学の基礎②(Cホメオスタシス D からだの化学的構成)		
第3回		授業を通じての到達目標	細胞内小器官の名称、働きについて説明できる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	生理学の基礎③(E細胞の機能的構造)		
第4回		授業を通じての到達目標	受動輸送について説明できる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	生理学の基礎④(F拡散、浸透、ろ過)		
第5回		授業を通じての到達目標	受動輸送・能動輸送の違いを説明できる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	生理学の基礎⑤(G受動輸送と能動輸送、Hエンドサイトーシスとエクソサイトーシス)		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回		授業を通じての到達目標	血液の役割を理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	血液の生理学①（A血液の役割）		
第7回		授業を通じての到達目標	血漿・血球・血清をそれぞれ説明できる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	血液の生理学②（B血液の組成）		
第8回		授業を通じての到達目標	免疫について理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	血液の生理学③（C免疫機能）		
第9回		授業を通じての到達目標	血液型の決定因子を理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	血液の生理学④（D血液型）		
第10回		授業を通じての到達目標	止血の機序を説明できる。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	血液の生理学⑤（E血液の凝固）		
第11回		授業を通じての到達目標	心筋の名称、機能、性質を理解する。心電図を理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	循環の生理学①（A心臓の機能）		
第12回		授業を通じての到達目標	各血管の構造と働きを理解する。血圧の意味を理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	循環の生理学②（B血管系）		
第13回		授業を通じての到達目標	リンパ管について理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	循環の生理学③（Cリンパ管系）		
第14回		授業を通じての到達目標	神経性調節と体液性調節を理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	循環の生理学④（D循環の調節）		
第15回		授業を通じての到達目標	局所の循環系の名称・機能を理解する。	教科書	教科書を読み配布プリントを使って復習する。
		各コマにおける授業予定	循環の生理学⑤（E局所循環、F脳脊髄循環）		